記者発表資料

令和6年11月28日
国土交通省　東北地方整備局
秋田河川国道事務所

盛岡秋田道路（生保内（おぼない）～卒田（そつだ））の道路計画検討に関する意見聴取を実施します。
～みなさまのご意見をお聞かせください～

盛岡秋田道路（生保内（おぼない）～卒田（そつだ））における道路計画の検討にあたり、地域のみなさまや道路を利用される方が重視される項目について、ご意見をお伺いする**アンケート調査及びヒアリング調査**を行いますので、ご協力をお願いいたします。

アンケート調査について

〇対象区間：盛岡秋田道路（生保内（おぼない）～卒田（そつだ））
〇調査期間：令和6年11月29日（金）～令和7年2月14日（金）
〇調査内容：上記対象区間の道路計画の検討にあたり、地域のみなさまや道路を利用される方が重視する項目について、意見を把握するために実施します。

調査方法	実施方法	実施期間
インターネット（WEB）	秋田河川国道事務所ホームページに掲載します。 https://www.thr.mlit.go.jp/akita/road/99_questionary/obonai-sotsuda.html	**令和6年11月29日(金)～令和7年2月14日(金)**
返信用はがき	① 別紙の調査対象地域にお住まいの方に、広報誌差し込みにて全戸配布します。 ② 別紙の対象区間を利用する事業者へ郵送配布します。 ③ 各自治体の公共施設等にアンケート調査票と回収ボックスを設置します。 （設置箇所は別紙参照による）	**令和6年11月29日(金)～令和7年2月14日(金)**

ヒアリング調査について

〇調査期間：令和6年11月29日（金）～令和7年2月14日（金）
〇対　　象：別紙の対象区間の沿線地域及び広域的な利用が考えられる地域の自治体、団体、事業者。
〇調査内容：上記対象区間の道路計画の検討にあたり、業務等で道路を利用される際に重視する項目について、意見を把握するために実施します。
※なお、対面での聞き取りを予定していますが、調査票送付と電話聞き取りによる対応も可能です。

≪記者発表会≫秋田県政記者会

〈お問い合わせ先〉
国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
副所長（道路担当）　長濱谷（ながはまや）　和典（かずのり）
調　査　課　長　佐藤（さとう）　巧（たくみ）
TEL：018－823－4167(代)

別　紙

●アンケート調査票・返信用はがきの配布

〇調査対象地域にお住まいの方

・対 象 地 域：仙北市

・配 布 方 法：仙北市の広報誌差し込みにて配布します。

・配布予定日：１１月２９日（金）

〇上記以外の方

・下表【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】に示す公共機関、道の駅等にアンケート調査票・返信用はがきと回収ボックスを設置します。

・インターネットによる回答も可能です。

●アンケートの回答方法

①インターネットによる回答

検索サイトやスマートフォンから

インターネットによる回答を行う場合は下記の**二次元コード**か、**「秋田河川国道事務所」**で検索し、下記のバナーからアクセスしてください。

盛岡秋田道路（生保内～卒田）ご意見募集
令和7年2月14日まで

秋田河川国道事務所のホームページから

詳しくは**「東北地方整備局　秋田河川国道事務所のHP」**へアクセスしてください。

秋田河川国道事務所

アンケートページURL：https://www.thr.mlit.go.jp/akita/road/99_questionary/obonai-sotsuda.html

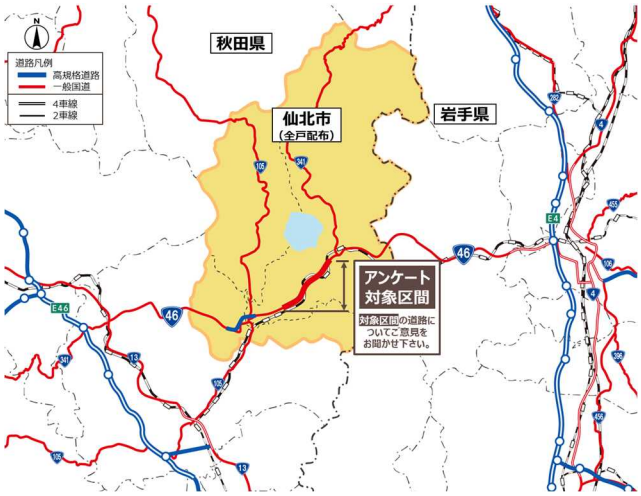
②返信用はがきによる回答

返信用はがきに回答をご記入いただき、お近くの郵便ポスト、または下表【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】に示す公共機関、道の駅の回収ボックスへ投函してください。

【調査票・回収ボックス設置箇所一覧】

	設置場所
国土交通省	・秋田河川国道事務所　・角館国道維持出張所
秋田県	・仙北地域振興局
市役所 町役場	・仙北市役所（田沢湖庁舎、角館庁舎、西木庁舎） ・大仙市役所（大曲庁舎、大曲南庁舎、協和庁舎） ・秋田市役所（本庁舎、秋田市民交流プラザ） ・雫石町役場 ・滝沢市役所 ・盛岡市役所（本庁舎）
公民館	・仙北市の公民館（中央、角館、田沢湖）
道の駅	・道の駅「協和」　・道の駅「なかせん」 ・道の駅「雫石あねっこ」
学校関係	・秋田大学 ・秋田工業高等専門学校 ・角館高等学校
民間施設	・イオンモール秋田 ・自動車学校（大曲、仙北、大曲中央）

【調査対象地域及び対象区間】



凡例
調査対象地域

Web回答はこちらから

『道路づくりはあなたが主役です!!』

道路課題解消についてのご意見募集中！

盛岡秋田道路（生保内（おぼない）～卒田（そつだ））

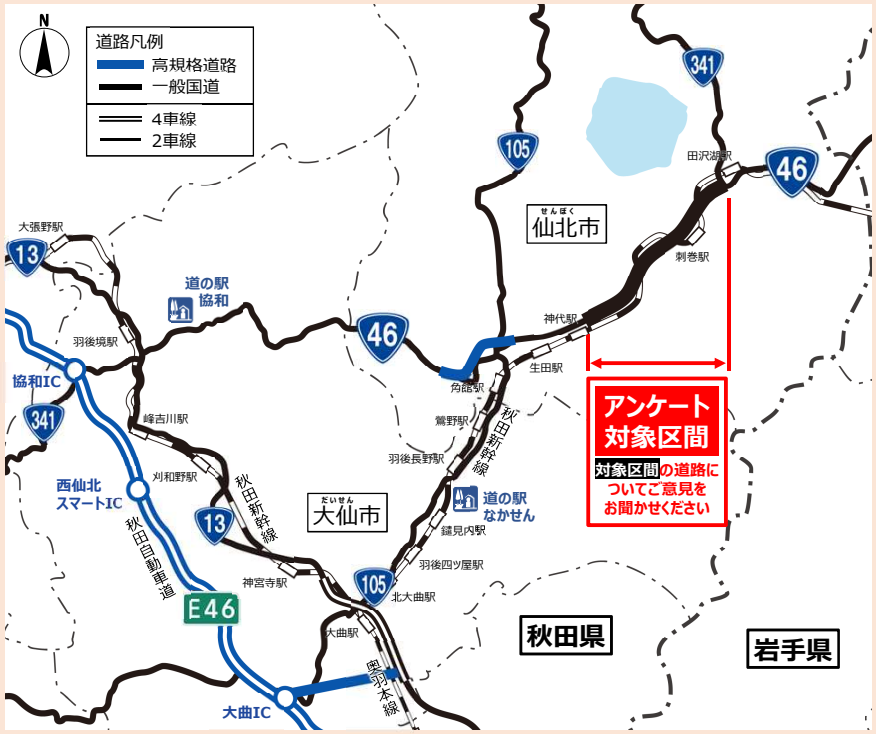
道路計画検討に関する第2回アンケート調査

全4問（約４分程度）

●国道46号は岩手県盛岡市と秋田県大仙市を結ぶ路線ですが、**対象区間**には急カーブ・急勾配箇所が多数存在しており、走行性が悪いことや事故のリスクがあるなどの課題を抱えています。

●本アンケートは、**対象区間**の道路計画検討にあたり、対応方針（案）を踏まえ、**対象区間**の課題解決のために重視すべき項目についてご意見をお聞きするために行う調査です。

※ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはございません。



今回のアンケートと道路計画の流れ

- 地域や道路交通の現状と課題の整理
- アンケート：道路交通・地域の課題把握
- 政策目標の設定 対応方針案の検討
- 今回 アンケート：ルート案に対する意見の把握
- 対応方針の決定

ご意見を踏まえて、ルート帯を検討する上で重視すべき事項について、以下の9項目を考えています。

政策目標

- A 円滑・安全な交通環境の確保
- B 信頼性の高い道路ネットワークの確保
- C 安定した物流ルートの確保
- D 信頼性の高い救急搬送環境の確保
- E 観光振興の支援

配慮すべき事項

- F 沿線環境
- G 自然環境
- H 工事の影響
- I 経済性

地域や道路の課題解消のため、2つの案を立案しました

A案 バイパス案

全線バイパス整備により、課題解消を図る案

バイパス

設計速度80km/h

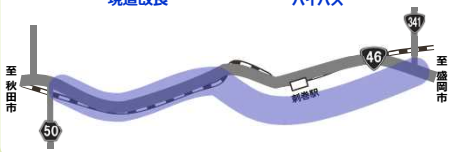
B案 現道改良・一部バイパス案

現道改良及び一部バイパス整備により、課題解消を図る案

現道改良及び一部バイパス整備

設計速度60km/h

現道改良　バイパス



詳細は裏面をご覧ください>>

お問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所 調査課

TEL 018-864-2289（平日 8:30～17:15）

Email thr-751tyousa@ki.mlit.go.jp

アンケートのご回答は **令和７年２月１４日** までにお願いします。

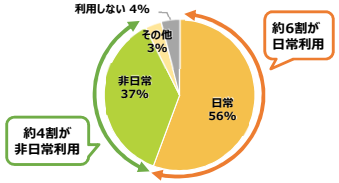
＼たくさんのご回答ありがとうございました！／

第1回アンケート結果の概要

詳細はHPで紹介中

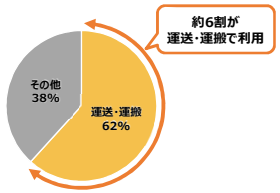
●対象区間の利用目的

住民・道路利用者　回答票数 3,306 票



※日常的利用：「仕事」、「通勤」、「通学」、「通院」、「家事（買い物など）」、「送迎」の合計
非日常的利用：「レジャー・ドライブなど」
その他・無回答：「その他」、「無回答」の合計

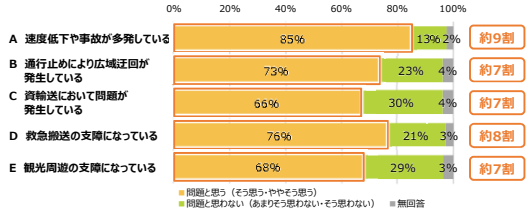
事業者　回答票数 102 票



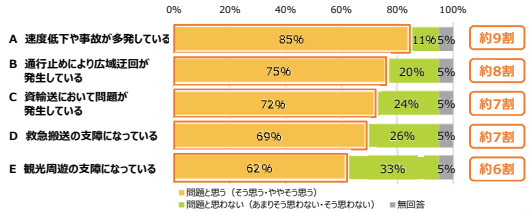
※その他：「営業」、「送迎」、「旅客」、「利用しない」の合計

●課題の認識［冬期（12月～3月）］

住民・道路利用者　回答票数 3,306 票



事業者　回答票数 102 票



アンケート結果を踏まえた課題の再整理

A 交通環境

⇒急カーブや急勾配が多く、特に冬期は精神的負担が大きい、カーブ区間で対向車（特に大型車）と衝突しそうになる時があり危険との意見がありました。

B 防災

⇒災害発生時に迂回路がないというのが不安との意見がありました。

C 産業・物流

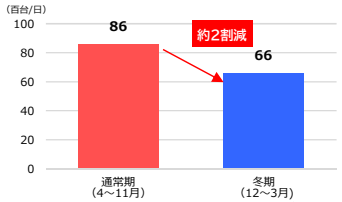
⇒ジャストインタイムでの納品を目指しているが、通行止めにより出荷ができないとなると顧客先の製造にも影響が生じ、損失も発生するとの意見がありました。

D 医療

資料：H29.3（降雪・降雨無）救急車走行調査データ（角館消防署田沢湖分署）

⇒急カーブや急勾配などでは急ハンドル・急ブレーキとならないように注意している、冬期は積雪等の影響で速度低下が発生し搬送時間が増加しているとの意見がありました。

E 観光



出典：交通量常時観測データ（R5年度）

⇒冬期は道路状況が悪く行動意識の妨げに繋がっているとの意見がありました。

対応方針（ルート帯）の考え方

A案　バイパス案　全線バイパス整備により、課題解消を図る案です。

B案　現道改良・一部バイパス案　現道改良及び一部バイパス整備により、課題解消を図る案です。

詳細な道路設計にあたっては、鉄道や刺巻湿原などの影響に配慮して検討を進めてまいります。

ルート案			A案 バイパス案	B案 現道改良・一部バイパス案
ルート概要			全線バイパス整備により課題解消を図る案	現道改良・一部バイパス整備により課題解消を図る案
			設計速度80km/h	設計速度60km/h
政策目標	円滑・安全な交通環境の確保	円滑・安全な交通環境	・全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避することで、走行性・安全性が向上	・現道改良・一部バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所の回避や改良、幅員狭小箇所を解消し、アクセスコントロールすることで、走行性・安全性が向上
政策目標	信頼性の高い道路ネットワークの確保	通行止めリスクの低減・代替機能の確保	・全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避することで、災害・交通事故発生時の通行止めリスクが大きく低減し、代替機能も確保される	・現道改良・一部バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所の回避や改良、幅員狭小箇所を解消することで、災害・交通事故発生時の通行止めリスクが低減するが、現道改良区間は 代替機能が確保されない
政策目標	安定した物流ルートの確保	物流経路の速達性・安定性向上	・全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避し、 代替機能を確保することで、物流経路の速達性・安定性が向上	・現道改良・一部バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所の回避や改良、幅員狭小箇所の解消、通行止めリスクを低減することで、物流経路の速達性・安定性が向上
政策目標	信頼性の高い救急搬送環境の確保	救急搬送の信頼性向上	・全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小箇所を回避することで、救急搬送の信頼性が向上	・現道改良・一部バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所の回避や改良、幅員狭小箇所を解消することで、救急搬送の信頼性が向上
政策目標	観光振興の支援	広域移動での速達性・安定性向上	・全線バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所、堆雪による幅員狭小を回避することで、広域観光の速達性・安定性が向上	・現道改良・一部バイパス整備により、急カーブ・急勾配箇所の回避や改良、幅員狭小箇所を解消することで、広域観光の速達性・安定性が向上
配慮すべき事項	沿線環境	沿線住民・沿道家屋への影響	・全線バイパス整備のため、沿線住民・沿道家屋への影響が小さい	・バイパス区間は沿線住民・沿線家屋への影響が小さいが、現道改良区間は沿線住民・沿道家屋への影響が大きい
配慮すべき事項	自然環境	地形・自然環境の改変	・全線バイパス整備のため、地形・自然環境への影響が大きい	・現道改良区間は地形・自然環境への影響が小さいが、バイパス区間は地形・自然環境への影響が大きい
配慮すべき事項	工事の影響	現道交通への影響	・全線バイパス整備のため、現道交通への影響が小さい	・バイパス区間は現道交通への影響が小さいが、現道改良区間は施工時に交通規制が必要となるため、現道交通への影響が大きい
配慮すべき事項	経済性	整備に関する費用	560～660億円	470～570億円